



所信を述べる山崎市長

平成27年度
市政運営
方針

地方創生追い風に “綾部創生”加速

13か月予算編成し将来への種まき

平成27年度の事業や予算を審議する市議会3月定例会が3月2日開会。初日に山崎善也市長が新年度の市政運営方針を述べ、所信を表明しました。

都市から地方へ
“ふるさと回帰”推進

2期目が始動して早1年が経過。この間、これまで培ってきた経験や多くのネットワークを最大限に生かし、スピード感を意識しながら各種施策を推進してきました。昨年末には「まち・ひと・しごと創生法」が成立。東京一極集中を是正するため、地域活性化と人口減少対策を柱とする国の総合戦略が発表されたところです。



UIターン希望者に貸し出す住宅の整備など、定住支援策を充実

少子高齢化の進行に対応すべく、定住・交流促進などの取り組みを強力に進め、一定の成果を挙げています。今後、国の方針を踏まえ地方版総合戦略を策定し、都市から地方に人が移り住む“ふるさと回帰”を加速化させるため、全庁挙げて取り組みます。

インフラ、ハード整備着々
良い風生かし展望開く

本年はいよいよ、京都府の南北を貫く大動脈である京都縦貫自動車道が全線開通。昨年開通した舞鶴若狭自動車道と併せ、綾部市が高速自動車道の全国ネットワークで結ばれることとなり、確実にヒト・モノの動きが活発化することが予想されます。

このような状況を想定し、昨年5月には「あやべ特産館」を整備。隣接するゲンゼ博物館、「あやべゲンゼスクエア」がオープンし、市内外から多くの来場者を集めています。またここ数年、本市への企業の進出や設備投資が相次い



次代を担う人材育成へ子育て支援に重点

「医・職・住」+「教育」
「情報発信」キーワードに
施策展開

このような状況の中、第5次綾部市総合計画・前期基本計画は最終年度を迎えます。この5年間を総括し、今後のまちづくりの指針となる後期基本計画を策定します。

戦後70年、綾部市にとって市制施行65周年という節目の年。綾部創生の重要な年として、「医・職・住」そして「教育」「情報発信」をまちづくりのキーワードとして、引き続き各種施策の積極的な展開に努めます。

新年度の予算は、国の補正予算を踏まえた本年度3月補正予算と合わせ「13か月予算」として編成。国の緊急経済対策に配慮するとともに、特に子育て支援に傾注し、次世代

昨年5月にオープンした「あやべ特産館」。年末には、延べ来館者数10万人を突破



であり、雇用も拡大。一方で、人や土地、住宅が不足するなど新たな課題も生じており、これらの状況をしっかりと受け止めながら、今本市に吹いてきている“良い風”を追い風にして、将来への展望を開いていくことが重要であると考えています。

線引き廃止実現へ

さらに、まちづくりの“基本OS”と位置づけてきた都市計画区域区分の見直し、すなわち線引きの廃止については、平成27年度に実現する見込み。市道青野豊里線の完成と相まって、綾部駅北側の一

の担い手をしっかりと育てるため、「将来への種まき」となる施策に能動的に取り組めます。

現地・現場主義を基本に、本市の将来都市像「住んでよかった：ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」、さらには「住みたくなる綾部」を目指し、市民協働のもと知恵と工夫を凝らし、一生懸命働きます。

ふるさとへの自信が原動力に

「近き者悦ばば、遠き者来たる」。孔子のこの言葉は地方創生の核心を突いていると思います。まずは地域住民が、自分たちの住む地域に誇りを持つことが定住・交流促進などの原動力となります。綾部を訪ねてきた人に対して、私たち1人ひとりが自信と誇りを持って、ふるさとの素晴らしさを伝えることから綾部創生は始まります。

後世に悔いを残さない、次世代にツケを回さないことに意を配しつつ、市政運営に努めていく決意を新たにしています。



整備が進む市道青野豊里線。27年度末に完成予定

体的整備も視野に入れながら、新たな産業用地の確保と併せ、持続的な「綾部創生」につながる企業誘致や定住促進を計画的に進めます。

一方、近年頻発する集中豪雨や台風などで想定を超える被害の発生が懸念される中、



昨年8月の大雨で被災した私市円山古墳。27年度中に復旧予定

自助・共助・公助の精神を基本に市民の皆さんとの協働のもと、中長期的な対策も見据えながら、災害に強いまちづくりに努めます。

また、老朽化した公共施設の集約・再編の指針となる公共施設マネジメントを策定。教育分野においては小中一貫教育のさらなる推進に加えて、医療・介護・福祉・子育て支援の充実、発展にも精力的に取り組めます。

教育委員会制度を改革

教育については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、本年4月から教育委員会制度が大きく変わることになりました。今回の制度改革は、教育の



東綾中学校の老朽化・耐震に伴う改築に当たり、隣接する東綾小学校と一体となる小中一貫校舎の建設へ